

令和 2年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R02年度	R03年度	R04年度
活動 指標	利用者数	人	目標	8,400.00	8,400.00	8,400.00
	年間の施設延べ利用者数		実績	2,859.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	B どちらとも言えない	高齢者のふれあいや介護予防教室の場として利用者も定着しているが、築40年が経過し、老朽化が進んでおり、今後の施設の在り方の検討が必要。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	市が高齢者のふれあいの場や介護予防サービスの場所を提供することは妥当である。
	手段の妥当性	A 妥当である	高齢者のふれあいや介護予防教室の場として利用者も定着しているため、現状の運営は妥当である。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	平成30年より管理人を常駐化したことにより、利用予約を現地で行えるようにしたため事務の効率が図られている。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	高齢者の団体のみの貸し出しではなく、市が主催する介護予防事業にも利用されていることから広く公平に提供している。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	新型コロナウイルス感染症の影響により、臨時休館としていた期間があるため利用者に影響が出ている。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	新型コロナウイルス感染症の影響により、臨時休館としていた期間があるため利用者に影響が出ている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
稼働率も高い状況であり、今後もこの状態で保ちたいが、施設の老朽化が問題である。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
公共施設マネジメントワーキングチーム会議において当施設の利用を令和9年までと方針を決めたが、一方で避難所ともなっていることから関係各課と再度検討が必要である。			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☒ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置
方向性の具体的内容 高齢者の文化スポーツ活動や介護予防の場として利用されており一定の役割を果たしている。また、本施設は避難所としても指定されており、全室和室の施設は当館のみであるため、本市にとって有用な施設となっている。しかし、施設の老朽化が激しく、軽微な施設改修では市民の安全が確保できない状況でもある。今後は地区分館等の活用を段階的に進めていく必要がある。
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。